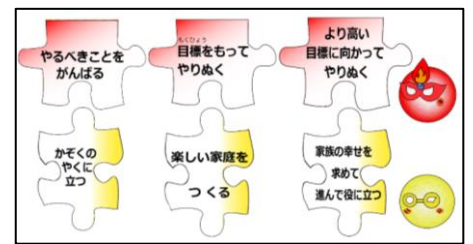




## めあてを達成する冬休み

今日24日(火)は、2学期の終業式でした。2学期は最も長い学期で、たくさんの子供たちの成長と活躍を見ることができました。新たな年を迎える冬休みは、子供たちにも大切にして欲しいと思っています。子供たちには Zoom で「冬休みと夏休みの違いは何?」と考えてもらいました。その後、冬休みは、①短い ②暇な時間と慌ただしい時間が混在する ③プレゼントやお小遣いをもらう機会が多くなる ④寒い ⑤太りやすい と整理しました。①～③は「時間・お金の管理」で、④・⑤は「体調の管理」ということになります。この「管理」とは「物事がうまくいくようによりよくしていくこと」とも言えます。つまり、帯西レッドの心をうまく働かせることなのです。子供たちには、「時間・お金・体調」の管理をしっかりとするために「めあて」をしっかり立てて冬休みに臨んで欲しいと話しました。また、家族のために役に立つことにも是非挑戦し、「帯西レッド」と「帯西イエロー」とがコラボする冬休みにして欲しいことを伝えました。お家でも子供たちに是非役割を与えて欲しいと思います。



昨日は、熊本市教育センター所長が来校され、教育論文の授賞式が行われました。今年度も「豊かな心で主体的に活動し、よりよい生活を創り出す子供の育成～特別活動と道徳科とが響き合い、子供が活躍する道徳教育の推進～」という研究テーマで、昨年度の教育委員会賞に引き続き連続受賞ということになりました。論文には、帯西レンジャーによって「4つの心」を意識しながら自分の行動を価値付けたり、道徳科の授業で、どのピースを学ぶのか方向づけたり学びの整理をしたりする取り組みを、全員で執筆しまとめています。そして、授業だけではなく、学校生活の中で、「4つの心」と共に子供たちが活躍していく様子を分析していることが高く評価されています。研究部長の城下先生は「普段自然と取り組んでいる教育実践が、市内外で評価されていることが嬉しく思います。昨年度の井手研究部長(現教務主任)から引き継いできたことを、これからも全員で共通理解・共通実践に繋げていきたいです。」と述べています。これからも子供たちが活躍する帯西をもっと深化させていきたいと思います。学校教育目標を具現化しようとする子供たちと職員を誇りに思います。

## 教育論文 奨励賞受賞

昨日は、熊本市教育センター所長が来校され、教育論文の授賞式が行われました。今年度も「豊かな心で主体的に活動し、よりよい生活を創り出す子供の育成～特別活動と道徳科とが響き合い、子供が活躍する道徳教育の推進～」という研究テーマで、昨年度の教育委員会賞に引き続き連続受賞ということになりました。論文には、帯西レンジャーによって「4つの心」を意識しながら自分の行動を価値付けたり、道徳科の授業で、どのピースを学ぶのか方向づけたり学びの整理をしたりする取り組みを、全員で執筆しまとめています。そして、授業だけではなく、学校生活の中で、「4つの心」と共に子供たちが活躍していく様子を分析していることが高く評価されています。研究部長の城下先生は「普段自然と取り組んでいる教育実践が、市内外で評価されていることが嬉しく思います。昨年度の井手研究部長(現教務主任)から引き継いできたことを、これからも全員で共通理解・共通実践に繋げていきたいです。」と述べています。これからも子供たちが活躍する帯西をもっと深化させていきたいと思います。学校教育目標を具現化しようとする子供たちと職員を誇りに思います。



## 正月への備え 帯西愛

今年も恒例の門松づくりが、12月22日(日)の午後に、帯西応援隊の方々によって行われました。竹は、朝からいい竹を求めて切り出されました。立派な松や南天やお飾りを準備していただき、地域の方々の心がこもった材料を使い、立派な門松ができました。「こっちの方がいいかな、いや、枝ぶりはこっちの方がいい。」など、何度も皆さんと遠くから見ながらやり直し、完成させておられました。子供が卒業された方や卒業生も参加し「帯西の子供のために何かしていきたい」という気持ちが伝わりました。



また、帯西伝承の日には、学校用に鏡餅を作っていただきました。このように、日々地域の人々の帯西愛に触れることができ、いつまでも帯西を温かく見守ってくださる思いが心強く、そしてありがたいです。保護者の方々、地域の皆様、よい年をお迎えください。